

＊はじめて愛を知ったその夏…鈍のようにきらめく海に涙を洗めて あの花は去って行った……



In everyone's life there's a
SUMMER OF '42

おもいで夏

A Robert Mulligan / Richard A. Roth production

原作・脚本ハーマン・ローチャー／製作リチャード・A・ロス／監督ロバート・マリガン／音楽ミッシェル・ルグラン
■原作はハーマン・ローチャーのベストセラー小説／角田書店 ■流麗な主題曲(サントラ盤)雙・ワーナー・レコード／テクニカラー ワーナー・ブラザーズ映画



8月上旬ロードショウ!

丸の内松竹 (201)
3720

東急レックス (407)
7019

新宿 品オスカー (352)
2431

テクニカラー
ワーナー・ブラザー映画

おもいで夏

SUMMER OF '42

解説

ニューイングランドの美しい島を舞台に、性にめざめる一人の少年の心の動きをとらえ、性にも近い。年上の女性との甘美にして哀しいひとときの愛を綴った青春映画の新しい秀作である。

夫を戦いに奪われた女性の失意と孤独、一夜の愛を求めるラスト・シーンとは映画史にも残る感動の名場面であり、思春期の心と体の微妙なふるえを鋭くとらえ、ノスタルジックな画面に色彩もあざやかに少年時代との永遠の別れを刻んだこの映画は、世界各国で大評判を呼び「ある愛の詩」ともにブームを起している。

監督にはアメリカの良心的演出家として「アラバマ物語」「マンハッタン物語」「レッド・ムーン」など数々の秀作を生んでいるロバート・マリガン、脚本は現在全米で人気沸騰のベストセラー小説として話題の渦にあるハーマン・ローチャ、撮影は「ベン・ハー」「卒業」のベテラン、ロバート・サージェイス、音楽は「シェル・ルグラン」の雨傘「華麗な賭け」のミッシェル・ルグラン、出演者は若く美しい末亡人に、ニューヨークきつてのフ্যাッション・モデルとして、又「リオ・ロバ」に出ていたジェニファー・オニール、三人の少年には、十五歳のゲリー・グライムス、十八歳のジュリー・ハウザー、十四歳のオリバー・コナントが絶妙の名演を展開している。(上映時間 一時間四十五分)

物語

未知のセックスに対する神秘と好奇心は医学書を通してハーミーにもその秘密のハービル一つづつ教えてくれた。性にめざめるハービルだったが、そんな時にドロシーはますます心のなかに深いかけを落して、忘れられないあこがれの人となつて行った。

オシーはある日、ハーミーにコンドームを見せびらかせた。「勇気があるなら薬局で買って見ろ」といわれると、ハーミーは薬局の戸をあけて中へ入った。薬局の主人にハーミーはなかなかいい出せなかつた。恥ずかしから彼はアイスクリームを買つた。とうとうゴム製品が欲しいといふた。「君はいくつだ?」と主人はいつた。「いや、兄が欲しいがってるのです」「いくらほしいのかね」「三ダース」「なに?」。そんな押問答でやつとハーミーはコンドームを買つた。

オシーとハーミーは、ミリアムとアギーを誘つて夏の海岸で深夜のデートに出かけた。ゴム製品を持つてオシーはミリアムと医学書の教える学校のコースをはじ出した。ハーミーはアギーとなぜか深い性の関係を結ぶことはできなかった。彼の心にはドロシーがあまりに大きく入りこみすぎたのだろうか?.....

翌朝、オシーはミリアムとの初体験を得意になつてハーミーに話したが、ハーミーは「おまえな

スタッフ

監督.....ロバート・マリガン
製作.....リチャード・A・ロス
原作・脚本.....ハーマン・ローチャ
撮影・脚本.....ロバート・サージェイス
音楽.....ミッシェル・ルグラン

キャスト

ジェニファー・オニール
ゲリー・グライムス
ジュリー・ハウザー
オリバー・コナント
ベンジー
キャサリン・アレクサンダー
クリストファー・ノリス
ル・フリッツェル
薬局の主人.....

んかとは人間がちがうんだ」といつた。

ハーミーはドロシーの家を訪れた。ノックの音に答へはなかつた。ハーミーはドアをあけて中へ一人が入つていつた。蓄音機には曲の終つたレコードが止まらないでぐるぐるまわつていた。タバコの煙がそばで一筋の線を描いていた。テーブルの上にクシャクシャにされた一枚の電報が置かれていた。ドロシーの夫の戦死を知らせる電文.....

ハーミーは胸をつかれた。

眼を真赤に泣きさらしたドロシーがハーミーのまへにあられた。ハーミーは言葉もなかつた。夜の静寂が二人の間に流れた。ドロシーはかけつばなしの蓄音機のそばによるとピツクをかえした。悲しみをたたえた静かな曲が流れた。ハーミーはどろしに誘はれるままに踊った。傷心の彼女をなぐさめる方法をハーミーは知らなかつた。ハーミーの胸に顔を埋めて踊るドロシーの眼からは、とめどなく涙が流れた。

このさびしさをどうすればいいのか?.....ドロシーは、孤独に耐えきれないようにハーミーを言葉もなく踊りながら彼女のベッドへ誘つていつた。朝がきた。青い果実のような少年ハーミーはドロシーのベッドで抱きあつたまま眼をさました。窓辺でドロシーはハーミーを涙で送つた。別れの言葉はなかつた。

華麗な主題曲——おもいで夏 オリジナルサウンドトラック
「ある愛の詩」をしのぐ素晴らしいテーマ・ミュージック。
この曲の作曲者「ミッシェル・ルグラン」も来日します。
P-1052 7月10日発売 ¥400
P-8114 7月25日発売 ¥2,000

ワーナー・ブラザー・パイオニア株式会社